



C-450

口 手 ハ ハ 一 ハ ハ 口 手 ハ

# 取扱説明書

本書は、上記の各機器をより効果的にご使用のお手手。  
この種品の機能を十分お生かして正しくお使いください。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みください。  
お読み後は大切に保管してください。

SONY®

# 目次

本機は、デジタルオーディオ時代に対応した楽器収音用マイクロホンです。

特にノイズを低くおさえ、ダイナミックレンジを広くとるとともに、周波数帯域を伸ばした設計となっておりますので、粒立ちのよい明瞭な音像での収音が可能です。PCMデジタルオーディオプロセッサーを用いた録音で音質の良さをお楽しみください。

主な特長	3
使用上のご注意	3
各部の名称	4
電源について	5
内蔵電池で使うには	
外部電源で使うには	
接続のしかた	6
電源／ローカットスイッチの使いかた	7
パッドスイッチの使いかた	7
主な仕様	8
ロックダイヤグラム	11
保証書とアフターサービス	裏表紙

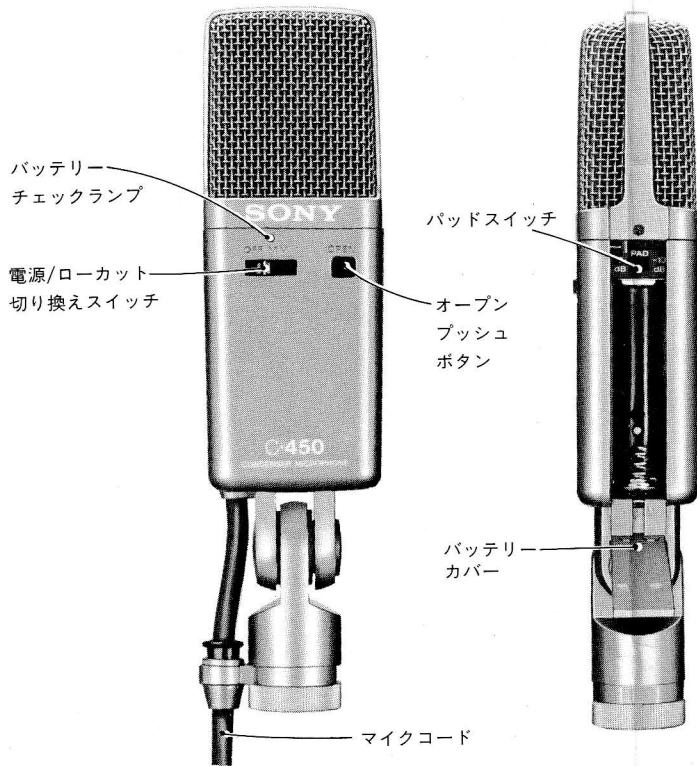
# 主な特長

- PCM録音で実力を発揮する広帯域コンデンサーカプセルと、ローノイズ、高ダイナミックレンジを実現したソースフォロア回路採用。
- DC/DCコンバーター搭載により、成極電圧50V、回路電圧9Vを単3型乾電池1本で動作させ、高ダイナミックレンジを実現。連続約100時間の使用が可能です。
- 乾電池駆動のほかに、スタジオや放送局などで使用している外部電源供給方式で駆動する2ウェイ電源方式。外部電源供給方式では信頼性の高い収音ができます。
- 電池の消耗状態が簡単に確認できるバッテリーチェックランプ。
- 収音状況に合わせて、低音域の音質切り換えが可能なローカットスイッチ。
- 大音圧の収音時に便利なパッドスイッチ。ひずみのない収音ができます。
- 不平衡型標準ジャック付きのアンプやミキサーへ接続できるキャノン=標準プラグ変換コード付属。

# 使用上のご注意

- マイクロホンは敏感なものです。落としたり、たたいたり、強いショックを与えたりしないでください。
- 高温多湿の所、特に温度が60°Cを越えるところで長時間使用したり、保存することは避けてください。
- マイクロホンケーブルは、確実に接続してください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると“ピー”という音が発生することがあります(ハウリング現象)。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまうために起こります。この現象を防ぐにはマイクロホンとスピーカーを向き合せないようにし、その距離ができるだけ離してください。

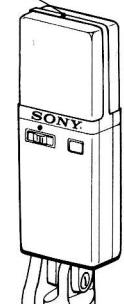
# 各部の名称



## 収音方向について

このマイクロホンは、スイッチの付いていない側が正面になります。

- ↓ ◯ 単一指向性を表すマークです。  
正面矢印の方向からくる音をよく収音します。



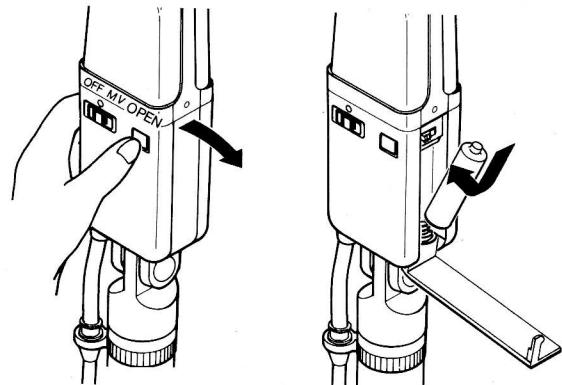
# 電源について

このマイクロホンは、内蔵電池のほかに外部電源(phantom powering system)でも動作する2ウェイ電源方式です。

## 内蔵電池で使うには

### 電池の入れかた

- 1 マイクロホン裏面のプッシュボタンを押します。
- 2 付属のSUM-3型(単3)乾電池1個を $\oplus\ominus$ を正しく入れて、電池ぶたを軽くします。

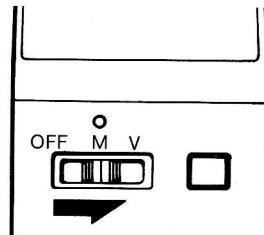


### 電池の交換時期

付属のソニー乾電池ニュースーパーSUM-3(NS)の場合、連続使用で約100時間もちます。新しい電池を入れた時は、その日付や収音時間をメモしておくと交換時期の目安になります。

### 電池の消耗状態を調べるには

電源／ローカット切り替えスイッチをOFFからMの位置にします。バッテリーチェックランプが瞬時赤く点灯するときは、電池が使用可能であることを示しています。ランプが点灯しない場合は電池が消耗しているので、新しいものと交換してください。



### 良い収音(録音)をするために

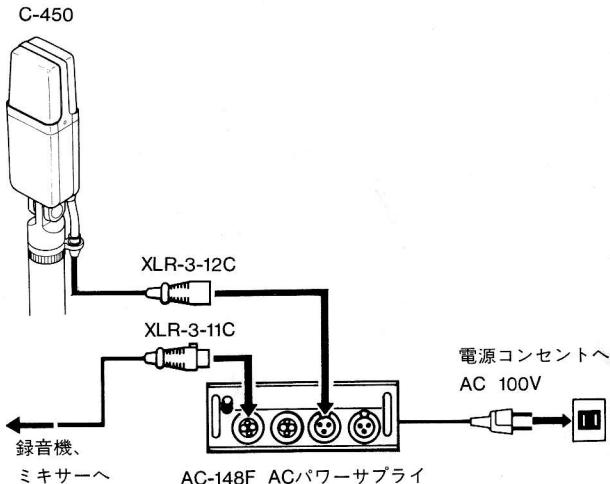
コンデンサーマイクロホンおよびすべての録音機材は、少なくとも収音開始30分前に電源を入れ、マイクロホンの動作の確認と安定をはかけてから収音してください。

良い収音(録音)結果を得る秘訣です。

# 接続のしかた

## 外部電源で使うには

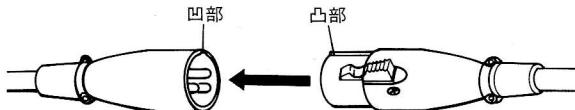
出力コネクターを別売りのソニーACパワーサプライAC-148Fまたは外部電源供給方式のマイク入力コネクター部につなぎます。電池が入っていても、マイクロホンの電源回路は自動的に外部電源に切り換わります。



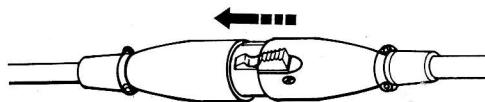
マイクロホンコードの出力端子には、キャノンXLR-3-12Cコネクターがついています。標準ジャック付きの録音機やミキサーに接続する場合には、付属のキャノン=標準プラグ変換コードをお使いください。

## 取り付けかた

下図のようにしてマイクロホンコードの出力コネクターと、キャノン=標準プラグ変換コードを接続してください。



2 カチッと音がするまで押し込みます。



## はずしかた

コネクターについている突起を押しながら、手前に引きます。



## 電源/ローカットスイッチの使いかた

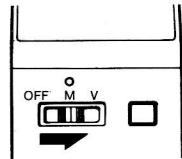
電源スイッチと、不要な低音域を効果的にカットするローカットスイッチを兼ねています。10ページの周波数特性図を参照して、M(Music)またはV (Voice)のどちらかに切り換えてください。

**M**：楽器や自然音などを音源から比較的離れて収音するとき。

高音域から低音域まで十分に周波数特性の良さが発揮されます。

**V**：声の収音で、近接効果<sup>\*</sup>によりブーミィな音質になるときや、風雑音の影響による低音域の雑音が気になるとき。また、楽器の収音で音源との距離が近すぎたり、収音場所での振動雑音が影響したりするとき。

使い終わったらOFFにして電源を切ってください。



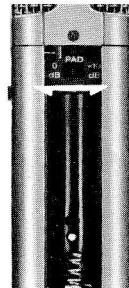
\*マイクロホンを口もと近くで使用するときに起こる現象のことを、近接効果といいます。低音域だけ強調されてブーミィな音になり、明瞭度が下がります。

## パッドスイッチの使いかた

音圧レベルの大きい音源にマイクを近づけて収音すると、ひずんでしまう場合があります。ヘッドアンプへの入力レベルを下げて、このひずみを改善するのがパッドスイッチです。バッテリーカバーを開けてスイッチを切り換えてください。

**0dB**：ふつうはこの位置に。

**-10dB**：ピアノやトランペットなどをオンマイク<sup>\*\*</sup>で収音して音がひずむとき。マイクロホンヘッドアンプの許容入力オーバーによるひずみが改善されます。さらにテープデッキ、ミキサーなどの接続機器の入力オーバーによるひずみも改善されます。



\*\*マイクロホンを音源の近くに設置する方法です。周囲の余分な音が収音されず、目的音を明確に収音することができます。

# 主な仕様

## 定格

型式	コンデンサー型
電源	SUM-3 (単3) 型乾電池 外部電源 (DC 48V)
出力コネクター	キャノンXLR-3-12C
外形寸法	50×197×34mm (幅×高さ×奥行き)
重量	本体のみ : 780g 乾電池含む : 800g
仕上げ処理	シリバーグレーメタリック塗装

## 性能

次の各項は JIS-C5502-1981 マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。 (0dB SPL=2×10<sup>-4</sup> μbar)

周波数特性	20Hz~20,000Hz
指向特性	単一指向性 (指向特性図参照)
出力インピーダンス	200Ω±20%、平衡型
正面感度 (偏差±2dB)	

開回路出力電圧 \*1 -72dB

実効出力レベル \*2 -51dBm

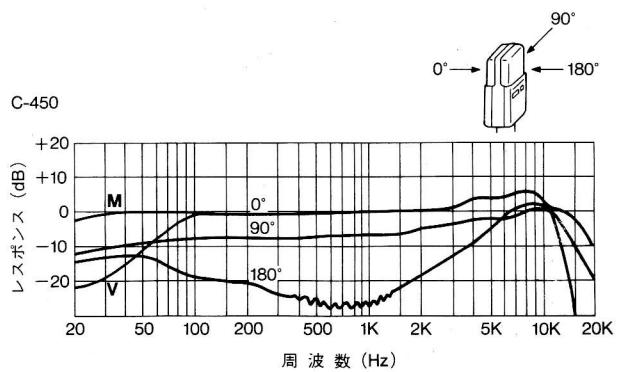
\*1 0dB=1V/1μbar 1,000Hz

\*2 0dBm=1mW/10μbar 1,000Hz

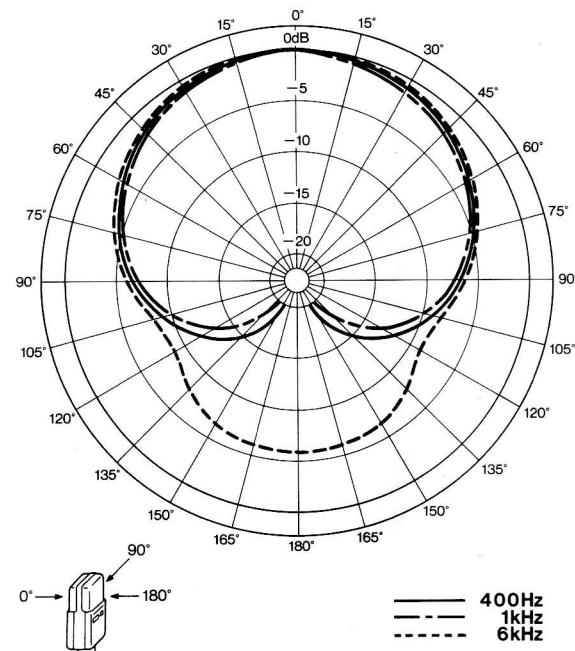
推奨負荷インピーダンス 3kΩ以上

電源関係	内蔵電池 基準動作電圧 1.5V 最低動作電圧 1.1V 消費電流 7.0mA以下(1.5V時) 連続持続時間 約100時間 (ソニー乾電池ニュースーパーSUM-3(NS)使用時) 外部電源 DC 48V	* <sup>4</sup> 50Hz、1m gaussの交番磁界中にあるマイクロホンに誘起する最大雑音を等価入力音圧に換算した値
雑音	信号対雑音比 * <sup>1</sup> 52dB以上(1,000Hz、 $1\mu\text{bar}$ ) 自己雑音(等価入力音圧換算) * <sup>2</sup> 22dB SPL以下 風雑音 * <sup>3</sup> 42dB SPL以下 外部磁界の誘導雑音 * <sup>4</sup> 5dB SPL /m gauss	最大入力音圧レベル * <sup>5</sup> 138dB SPL以上 * <sup>5</sup> マイクロホン出力信号が1,000Hzで1%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値
		ダイナミックレンジ 116dB以上(内蔵電池使用時) 許容保存温度 -20°C ~ +60°C 許容動作温度 0°C ~ +60°C 付属品 キヤノン=標準プラグ変換コード (1) ソニー乾電池ニュースーパーSUM-3 (NS) (1)
		本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

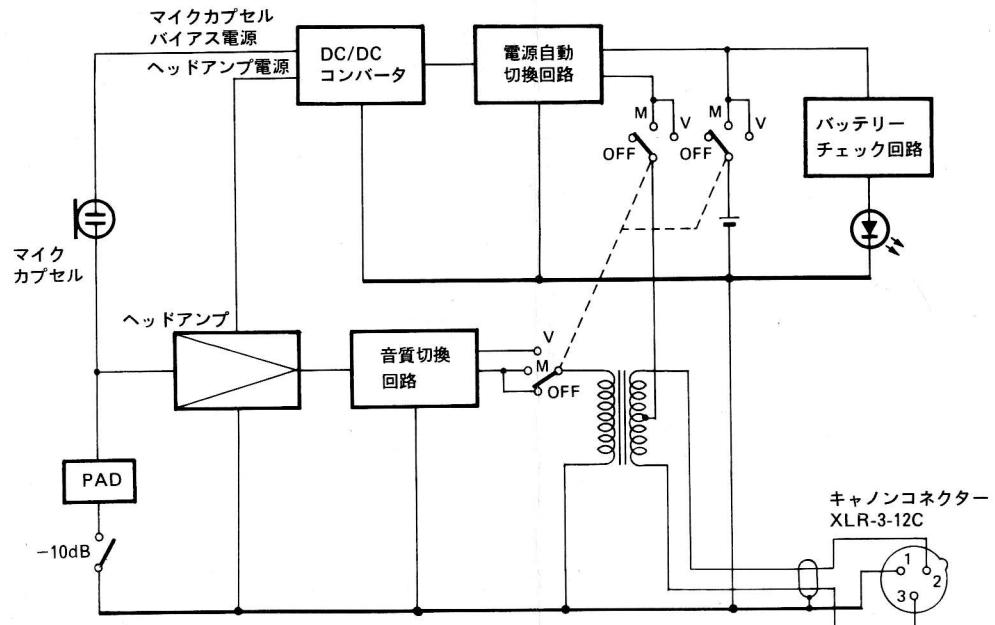
## 周波数特性



## 標準指向性特性図



# ブロックダイヤグラム



# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無料修理期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービスについて

調子が悪いときは  
まずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になっ  
てお調べください。

それでも具合の悪い  
ときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の“サー  
ビス窓口のしおり”にあるお近く  
のソニーサービス窓口にご相談く  
ださい。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理  
いたします。詳しくは保証書をご  
覧ください。

保証期間経過後の  
修理は

修理によって機能が維持できる場  
合は、ご要望により有料修理いた  
します。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な  
点は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口、お客様ご  
相談センターにお問い合わせください。

ソニーサウンドテック株式会社

〒141 東京都品川区西五反田 3-9-17 東洋ビル内

お問い合わせはソニーお客様ご相談センターへ

●東京(03)3448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611

2-599-226-03 (2)